



園だより 3月号



行事予定

(保) は、保育園だけの行事予定
(幼) は、幼稚園だけの行事予定

		幼稚園と保育園の予定	園開放☆
1	金		☆
2	土		
3	日		
4	月		☆
5	火	(幼) 保育参観日(さくら、あやめ組)	
6	水		☆
7	木	お別れ会(おかいものパーティー)	
8	金	身体測定(ばら組)	☆
9	土		
10	日		
11	月	身体測定(あやめ、たんぼぼ組)	☆
12	火	1・2・3 月合同誕生日会	
13	水	身体測定(さくら、ちゅうりっぷ、さくらんぼ組)	☆
14	木	避難訓練	
15	金	修園式 11 時 30 分降園	☆
16	土		
17	日	卒園式	
18	月	(幼) 預かり保育休み	☆
19	火		
20	水	春分の日	
21	木		
22	金	誕生日会、身体測定(0, 1, 2 歳児)	☆
23	土	(保) 入園説明会	
24	日		
25	月		☆
26	火		
27	水		☆
28	木		
29	金		☆
30	土		
31	日		

今年から 2 階のホールにおひなさまを飾っています。
みんなでケーキをいただきお祝いします。



【 5 日 (幼) 保育参観日 】
午前はさくら組、午後からあやめ組です。
詳しい内容は各クラスだよりをご覧ください。

【 7 日 お別れ会 】
1 年間仲良く遊んだふれあいグループの年長組さんを送る会とみんなが作ったものをお店に並べておかいものごっこを楽しみます。

インフルエンザで学級閉鎖になったクラスもあり、誕生日会を延期していたので、今回一緒に行う予定です。

【 17 日 卒園式 】
年長児・年中児が出席します。詳しくは後日配布する別プリントをご覧ください。



【 4・5 月の予定 】

4 月

- 6 日(土) 入園式
- 8 日(月) (幼) 始園式
11 時 30 分降園～4/12 日(金)迄
- 15 日(月) (幼) 2 時降園・給食開始
- 20 日(土) 春の親子遠足(安佐動物園)
※ 雨天順延 5/25(土)
- 26 日(金) (保) 0,1,2 歳児の誕生日会

5 月

- 11 日(土) 保護者総会
(保) 保育参観日



幼稚園の 3 月分の保育料引落日は、
3 月 5 日(火)です。
＜再引き落とし日(郵貯のみ) 3/15(金)＞

まだまだ寒い毎日ですが、少しずつ陽ざしが暖かくなってきました。今年、フラワーフェスティバル会場に飾る花を育てることになり、先日、子どもたちと一緒にポットに苗を植えました。今からどんな花が咲くのか楽しみです。

先月行われた生活発表会はいかがだったでしょうか。ちょっぴり緊張した様子も伺えましたが、子どもたちは生き生きと、楽しそうに表現していました。3 歳児の子どもたちは、大きな舞台の上で、お父さんお母さんに見てもらうのがうれしくて仕方ない様子でした。4 歳児になると、自分が何をすべきなのかわかっていて、「さるかに」の役になりきって楽しんだり、4 月から取り組んでいる鍵盤ハーモニカや木琴を披露しました。さすが 5 歳児はみんなで力を合わせてマーチングや和太鼓を演奏し、それぞれの年齢の成長を見ることができました。また、保護者の皆さんの「よく頑張ったね」という温かい拍手とまなざしが、子どもたちにとって、大きな自信となり、次への成長のステップになったことと思います。

早いもので、あと一か月ほどで子どもたちは、それぞれ進級・進学を迎えますが、先日目にした『ベネッセ次世代育成研究所の家庭教育調査』によると、「幼児期に集中して遊ぶ機会が多いほど、小学 1 年生で最後まで勉強に取り組むなど、家庭学習に向かう力が高い」、「子ども自身が考えられるように促す方が、子どもの学びに向かう力が高い」という結果がでています。

このことから、幼児期にいろいろなことに興味をもって遊ぶことが、小学校での学習の取り組みに影響することがわかります。また、大人が、つい先に言ってしまうたり、手伝ってしまうなど、「見通しを持った見守り」をしないと、子ども自身が考えたり、選択することができなくなってしまうようです。

大人が「あれしなさい、これしなさい」と命令するのではなく、我が子を信頼し、「どうしたらいいのかな」など、子ども自身が考えられるようにすることが大切です。

いずれにしても、乳幼児期に大好きな大人に思いをしっかりと受けとめ関わってもらいながら、「楽しいな」「どんなことが始まるのかな？」など、ワクワク期待するような活動をたくさん経験することで、自分から「やってみよう」という意欲が育っていきます。この意欲が、自分で考えたり、工夫したりする基盤となり、小学校へ入ってからの学習に前向きに取り組めたり、人との関わりを楽しめるようになるなど、「生きる力」に繋がっていくのだと思います。

今月は、進級・進学に向けて、子どもたちの楽しみにしている気持ちや不安な気持ちを受けとめながら、保育をしていきたいと思っています。

最後になりましたが、一年間、いろいろとご協力いただき、ありがとうございました。

保育園園長